

# BPT(バイオマスプロジェクトチーム)だより No.57

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kankyou-kendo/kankyou/junkan/biomass/index.html>

平成23年2月3日

バイオマスプロジェクトチーム

(環境生活部資源循環推進課)

## 1. 研究機関との連携

### ○ 地域LCA(千葉県)協議委員会

11月17日に宇都宮大学とともに県内の一部食肉センターにLCA(ライフサイクルアセスメント)調査に関する依頼と現地視察を行いました。現在、エコフィードに関するLCAの研究が進められていますが、これまでデータがまったくなかった「生体から食肉になる過程での評価」が進むことで、より精緻な評価が可能になると期待されます。

## 2. 国との連携

### ○ 関東バイオマス資源活用促進協議会

12月8日に関東農政局管内10都県のバイオマス担当者及び関係者が集まり、第2回関東バイオマス資源活用促進協議会が開催されました。この中で資源作物の利用可能性等が検討され、千葉県内については、資源作物としてソルガムを栽培してエネルギー利用し、その残さを家畜飼料として利用するというシュミレーションが検討されました。

### ○ エコフィード全国シンポジウム

12月6日にエコフィードに関する全国シンポジウムが開催され、全国から200名を超える参加がありました。

エコフィードに関して幅広いテーマで各講演が行われ、このうちエコフィードのLCAに関する発表は、宇都宮大学の菱沼准教授が千葉県等で実施した調査に基づくもので、参加者の注目を集めました。

パネルディスカッションでは、産学官の関係者がパネラーとして参加し、活発な討議が行われました。

最後に座長である独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構・畜産草地研究所の寺田氏は、エコフィードが六次産業化のキーテクであることが確認されたと総括しました。

### ○ 「低・未利用食品残さの高度利用技術の開発」成果発表会

12月7日に「低・未利用食品残さの高度利用技術の開発」成果発表会が開催されました。この発表会は、農水省の補助事業として行われた一連の研究成果の発表で、140名を超える参加がありました。

今回の発表内容では、今まで飼料として利用されなかったものなどについても可能性が提示され、調製技術・給与技術、肉質評価についても新しい知見が紹介されました。更にスキームの成立に当たって大前提となる経営評価についての発表も行われました。

低・未利用食品残さの飼料化技術の開発に関しては、洗米排水に関する発表や千葉県畜産総合研究センターの研究成果である高タンパク質・高脂質残さに関する発表などもあり、参加者の注目を集めました。

### 3. 市町村等との連携

- **南房総市域木質バイオマス利活用促進事業第2回検討委員会**  
12月7日に、千葉県森林組合安房支所が林野庁公募事業（木質ペレット等地域流通整備事業）により実施する第2回事業検討委員会に出席しました。今後、出光興産(株)千葉製油所と協力して木質チップの石炭ボイラー混焼利用を検討が行われます。
- **千葉県地域活性化プラットフォーム事業推進委員会**（11月8日、12月15日）  
山武郡市で「地球温暖化防止」を活動テーマに行われている県地域活性化プラットフォーム事業の推進委員会に出席し、意見交換を行いました。
- **市町村との意見交換会**（11月8日、1月14日）  
各市町村環境部局、一部事務組合の担当者等で組織される千葉県環境衛生促進協議会各支部で、当課各室担当者と一緒に情報交換を行いました。当チームからは、バイオマスに関する情報提供を行いました。
- **市町村との情報交換**（11月5日、12月、24日）  
今後の業務の参考に資するため、バイオマスに関心を持っている3市の環境（一部農政）部局の担当者と情報交換を行いました。地域で抱えている課題等を伺いながら情報交換を行いました。今後も各市町村担当者の方と連携しながら業務を進めていきます。

### 4. 関連業務

- **エコフィード緊急増産対策事業 第2回地域調整会議**  
本年度2回目の地域調整会議が11月16日に開催されました。エコフィードに関する情報交換ということで各委員からそれぞれ情報提供があり、新たに構築されたリサイクルループの概況についても紹介がありました。
- **エコフィード緊急増産対策事業 第1回利用推進委員会**  
本年度1回目のエコフィード利用推進委員会が11月25日に開催されました。本委員会のメンバーは、生産者団体、関連団体・企業、消費者組織等、生産から消費までを網羅しています。  
最初に県畜産課が食品残さの飼料化の状況、関連事業、21年度の実績、県内の状況等について説明しました。  
事業関係については、県畜産協会からエコフィードの試験に関する実施経過の報告とともに、本年度の事業内容（マッチングシステム）についても説明がありました。また現在集計中のマッチングに関するアンケート調査についても説明がありました。  
参加した各メンバーからそれぞれ情報提供があり、使いやすいエコフィード原料が逼迫している状況も紹介されました。

## 5. 普及啓発活動

### ○ 木質プラスチック普及活動の実施

下記イベントにおいて千葉県産木質プラスチック製品の普及啓発活動を行いました。

- ・ 11月12日：多古町幼稚園PTA連合会
- ・ 11月13日：第16回君津市生涯学習フェスティバル
- ・ 11月23日：山武郡市市民活動フェスタ
- ・ 1月7日～1月10日：第31回千葉県フラワーフェスティバル
- ・ 1月24日～1月28日：「ちばの花」大田市場展示会

千葉県産木質プラスチック製品を活用した独自の取り組みが行われました。



「ちばの花」大田市場での展示

### 「千草まつり」でエコデコイ色塗り体験！ 千葉市立千草台小学校PTA

「千草まつり」が開催されました。今年度は小学校創立45周年にあたります。その記念事業の一環として手軽にできる体験を模索していたところ、千葉市動物公園でエコデコイの色塗りを見る機会があり、「バイオマスプラスチック」を子どもたちに紹介したいと思い活動を始めました。エコデコイ製造、販売の「阿久津樹脂工業」様に問い合わせたところ快く製品を卸して下さい、「県バイオマスチーム」様からはバイオマスプラスチックに関するパネルをはじめ、チラシやボールペンの提供をいただく事で、準備もスムーズに進みました。当日は本校の子どもたちをはじめ、近隣地域の方々も多数来場いただきました。チラシやボールペンの配布を通じて「バイオマスプラスチック」の紹介をし、「エコデコイ・バードブローチの色塗り体験」コーナーの運営も大盛況に終わり、創立45周年記念に華をそえる事ができました。杉の樹皮や竹やトウモロコシからプラスチックができるという事に驚く子どもが多く、新しいエコ発見に大人も子どもも喜んでくれました。「バイオマスプラスチック」の更なる研究が進み、もう少し私達の身近な物になった時、この体験を思い出してくれたら嬉しく思います。



「千草まつり」で大盛況

(千葉市立千草台小学校PTAの方より寄稿いただきました。)

### ○ 松戸市協働事業・成人環境講座

12月11日の松戸市とアースコン・マツドの共催による同講座（テーマ：「バイオマス」って何でしょう？）において、バイオマス全般について説明しました。両者は連携して、地球温暖化防止の様々な取り組みを行っており、当日は同市での廃食用油からバイオディーゼル燃料を製造する事業等も紹介されました。

(参考) [松戸市ホームページ](http://www.city.matsudo.chiba.jp/index/kurashi/seikatsukankyou/tikyuuondanka.html)

松戸市・地球温暖化防止の取り組み

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/index/kurashi/seikatsukankyou/tikyuuondanka.html>

松戸市・廃食用油回収モデル事業

[http://www.city.matsudo.chiba.jp/index/kurashi/seikatsukankyou/gomi\\_shinyou](http://www.city.matsudo.chiba.jp/index/kurashi/seikatsukankyou/gomi_shinyou)

[/oshirase/haishokuyou.html](http://www.city.matsudo.chiba.jp/index/kurashi/seikatsukankyou/gomi_shinyou/oshirase/haishokuyou.html)



説明の様子